報告13　フィンランド・エスポー

ノーマライゼーションの実像

南フィンランドだけでなく中部方面にも拡大しているフィンランド最大の障害者支援施設・リンネコティ。利用者は 600 人、スタッフ 1200 人。ここは 3 度目の訪問になる。

顧客部長のヤーナ・ラークソネンが「リンネコティのこれから」について講義してくれた。

◆

リンネコティは今年設立 90 年をむかえる。

1927 年、修道女たちが盲ろう者支援をはじめたことで、ヘルシンキの慈善団体の支部としてスタートした。

1957 年に独立して財団になる。”リンネ”は「丘」「坂」の意味で、”コティ”は家のことだ。

1970 年代には 500 人が住んでいた。1980 年代からは施設の外側の囲いをとりのぞき、誰でも出入りできるオープンケアの施設に変えた。2010 年の頃からは施設をアットホームな小規模の建物に変えて 300 人が暮らしていた。

住む人たちは、重い知的障害や自閉症の人たちが多く、介護、食事、補助器具、運動、音楽などすべてのサービスが提供されてきた。

本部内には重度の障害のある子らの学校もあった。また、めずらしい病気や障害への支援サービス提供も国際的なネットワークをつくっている。

社会保障システムの変革期にあって、今後どういったかたちでこうしたサービスを提供していくか。リンネコティは、今後どう変化していくのか。2020 年を節目にして現在検討中だ。

しかし、どんな動きがあっても、障害者のために必要なサービスを行える影響力をもった団体でありつづけたい。障害のあるみなさんたちが、自分らしい人生を送れるように。

◆

「リンネコテイ財団にとって、”脱施設化”の評価と今後の課題は？」と質問した。

以下、その回答だ。

〇 3 年前までは 300 人が本部のあるところで暮らしていた。いまは 80 人になった。在宅サービスで支援のあるグループホームやアパートに移行した。現在本部に住んでいる 80 人も今後そのように移行していく。

〇移行する前には、障害のある利用者の研修をしている。

また、なじみのあるスタッフも同時に移行する。なのでいままでのサービスの質は維持される。より小規模に分散しながら、支援サービスの質は落とさず、スタッフはリンネコティのスタッフとして支援していく。

〇現在の本部にある住宅は、一つ一つの規模は 10 人規模で、それぞれ自分たちの家だ。それが 10 とか 15 ほど”集合”しているというかたちでもある。

「地域に出たいというのは、本人の希望なのか？」と質問があった。ヤーナには「地域に出たい」という質問の意図が十分通じなかったようだ。

フィンランドでは、「地域に出たい」ということがメインテーマではない。「脱施設化」とは、より「家」に近いかたちの支援ある住宅に住む、自分の部屋（ホーム）がある暮らし。そこで一人一人が障害があっても自分らしい人生を充実して生きられること、そこに大きな目的があるのではないかと通訳の下村さんと話し合った。

◆

デンマークでは、1960 年代からのノーマライゼーションの運動によって、大規模な施設ではなく、より小規模な、自由やプライバシーが尊重されたそ

れぞれの住まい、「家」としての生活が追求された。

1976 年に生活支援法、98 年には社会サービス法が成立し、「特別なニーズと配慮」が位置づけられた。

こうしたデンマークのゆるぎない社会システムの原点は戦前にさかのぼる。エミー・E・ワーナー著『ユダヤ人を救え!　デンマークからスウェーデンへ』（水声社）にはそのヒントがある。

1942 年、デンマークはナチス・ドイツに２時間で占領された。しかし、その日のうちにレジスタンス（抵抗運動）が組織され、552 紙 2300 万部の地下新聞が印刷された。たしかな情報は人と人とをつなげ、レジスタンスは人から人へ広がっていった。

1943 年９月から 11 月。300 隻の漁船が 7220 人のデンマークに住むユダヤ人とその家族 680 人を中立国・スウェーデンに秘密輸送し、９割以上が避難に成功した。学校、療養所、市民病院は避難所を積極的に提供したという。

「なぜユダヤ人を助ける苦労をしょいこんだのか？」と問われたある女教師は、「それが私の義務だと思ったんです」と答えた。それが普通の市民のあたりまえの声だった。

そして、戦争が終わって帰国したユダヤ人には脱出時の財産のほとんどが守られていたそうだ。

そうした、レジスタンス運動に参加し、ナチス・ドイツの収容所に投獄されたコペンハーゲン大学法学部の青年＝バンク - ミケルセン（1919 年～ 90 年）がいた。彼は、戦後、社会省に勤務し、知的障害者親の会の運動を手伝う中で、ノーマライゼーション（障害のある人たちに、障害のない人と同じ生活条件をつくりだすこと。－すべての人に自由と独立を－）を提唱した。世界の障害者の権利保障運動に大きな影響を及ぼし、障害者権利条約にもつながっている。　（薗部英夫）